

あわら市議会議員選挙 立候補予定者説明会の開催

任期満了に伴うあわら市議会議員選挙の立候補予定者説明会を開催します。立候補を予定されている人はご出席ください。

なお、出席人数は、立候補予定者1人につき3人以内とさせていただきます。

▼立候補予定者説明会
 とき 5月10日(水)
 13時30分～
 ところ 市役所3階 正庁

あわら市議会議員選挙について

告示日 6月11日(日)
 投票日 6月18日(日)

問合せ あわら市選挙管理委員会
 ☎ 73-8004

臨時福祉給付金(経済対策分)が 支給されます

次の対象者に、臨時福祉給付金(経済対策分)が支給されます。

対象
 基準日(平成28年1月1日)において、あわら市に住民登録しており、平成28年度分の住民税が課税されていない人
 ※課税されている人に生活の面倒を見てもらっている場合や生活保護の受給者である場合などを除く。

支給額 1人当たり
 1万5000円

申請方法
 給付金の受け取りには申請が必要で、対象者には5月初旬にお知らせしますので、申請してください。

詐欺にご注意ください
 「臨時福祉給付金」の振り込め詐欺や個人情報情報の詐取にご注意ください。

市や県、厚生労働省をかたる不審な電話や郵便があった場合は、福祉課、警察署または警察相談専用電話(☎9110)にご連絡ください。

お問い合わせ
 申請書に記載された指定口座に給付金を入金します。
 《申請方法》福祉課
 ☎73-8020
 《制度》厚生労働省
 ☎0570-037192



郷土歴史資料館 だより



こんな瓦ありませんか？

下に掲載した写真の瓦は坂井市三国町のお寺から寄贈されたものです。この瓦には銘があり、「越前国柿原 瓦工河瀬甚右工門」と刻まれています。年号は入っていないのですが、お寺に残されている同様の瓦には「寛政十一(1799)年」の銘があることから、恐らく同じ時期に作られたものと思われます。

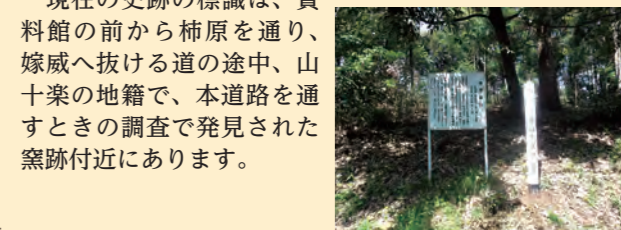
あわら市内の近世瓦造りは明和年間(1764～1772)に始まったと考えられていますので、これらは開業して間もないころのものである上に、作った人と場所がわかる大変貴重なものです。

瓦は葺き替えられた後は捨てられてしまうことが多く、古いものはなかなか残されていません。しかしそれらは地域の産業の歴史を伝えるとても貴重なものです。皆さんのうちの軒先に昔の古い瓦があったりはしませんか？もしありましたら、資料館にご連絡ください。地域の歴史を残すため、記録を取らせていただきたいと思ひます。

また、古い瓦の参考として、現在資料館では「滝展」(5月21日まで)を開催しています。ぜひ、お越しください。



▲瓦の銘「越前国柿原 瓦工河瀬甚右工門」



▲柿原窯跡標柱と説明板

郷土歴史資料館(金津本陣 IKOSSA 2階)
 休館日 月曜日・第四木曜日(祝日の場合はその翌日)
 開館時間 9時30分～18時(最終入館17時30分)
 問合せ ☎73-5158

ふれあい保険をご存じですか？ 社会活動で事故が発生したときは忘れずに報告を！

傷害保険			賠償責任保険		補償限度額	対象とならない事故
通院保険金	入院保険金	後遺障害保険金	死亡保険金	受託物賠償		
1日2000円 (90日限度)	1日3000円 (180日限度)	500万円	500万円	1事故につき 100万円	1事故につき 5億円	自然災害や故意による事故、被補償者の自殺行為・犯罪行為・無資格運転・酒酔い運転・脳疾患・疾病・心身喪失などによる事故、他覚症状のないむちうち症や腰痛など

市では、社会活動中に万が一事故が発生した場合、治療費などの一部を補償するため社会活動災害補償保険(ふれあい保険)に加入しています。

対象活動
 自治会、青壮年団、婦人会、老人クラブ、子ども会などの団体が行う社会活動
 ※スポーツ少年団活動を除く。

注意事項
 ふれあい保険により支給される保険金はあくまで見舞金程度と考えていただき、活動の際には、事前に他の保険(ボランティア活動保険、スポーツ安全保険など)への加入を検討するなど、事故対応に万全を期してください。

問合せ
 総務課
 ☎73-8004



事故が発生したときは
 万一、活動中に事故が発生したときは、事故から14日以内に団体を担当している課へ連絡し、事故報告書を提出してください。

また、市が主催する行事での事故は、会場で係員に申し出てください。行事の担当課が事故報告書を作成します。

福井しあわせ元気国体2018 福井しあわせ元気大会2018

国体 がやってくる！



福井国体マスコット はびりゅう

さあ がんばろう！ 平成30年福井国体



問合せ 国体推進課 ☎73-8033

ゴルフ競技注目選手を紹介します

来年、あわら市で開催される成年男子ゴルフ競技で上位入賞が期待されている福岡康文さん(福井市在住)に、福井国体へ向けての抱負を語っていただきました。



プロフィール

昭和49年生まれ。福井県出身。父親の影響で20歳からゴルフを始める。平成11年の熊本国体成年男子の部に初出場して以来、連続で国体に出場し、平成21年「トキめき新潟国体」では個人4位入賞。また、日本アマチュアゴルフ選手権大会をはじめ多くの国内大会にも出場し、平成27年の佐々部杯ゴルフ選手権大会では優勝。平成18年から福井工業大学附属福井高校ゴルフ部コーチに。人間形成を指導理念に、川村昌弘選手や小木曾喬選手といった日本を代表する選手を育てるなど、福井県ゴルフ界の第一人者として活躍している。

福井国体への抱負

ゴルフ競技は一見個人競技と思えますが、自分一人の力で成長できるものではなく、幾度も国体に出場できたのは、支えてくださる皆様のご支援があったからだ心から感謝しています。

おかげさまで、国体に出場し日本のトップアマの中でプレーさせていただいたことで、技術、精神力をはじめ、違った次元のことを多く学ぶことができました。

ゴルフはメンタル面が非常に大事な競技です。平成18年にお声をいただき、福井工業大学附属福井高校ゴルフ部の指導をさせていただいています。「挨拶・礼儀を重んじ常に感謝の気持ちを持ち、地域の人たちから応援される部活動」の理念のもと指導をしていると、教えることから学ぶことも多く、技術以外の部分でも自分自身を成長させていただいたと思っています。

福井国体会場の芦原ゴルフクラブは自分のホームコースです。地元でもあり、また福井工業大学附属福井高校ゴルフ部の選手やOB、OGも数多く出場する中でプレッシャーもありますが、選手として選ばれても選ばれなくても「チーム福井」の優勝に貢献できるよう頑張りたいと思います。